

科目名	メンズ実習ⅡパターンメイキングⅡ(メンズ)	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	メンズファッションデザインコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 10% 実習 90%
時間数	480	作成者	山路 俊美

【科目の到達目標】

プレタポルテのデザイン・パターン・カッティング・ソーイングの一貫した理論・知識と技術を習得。

【科目の概要】

ファッション・デザイン物は高度な基本テクニックが伴って粋で高度な機能美を自らの手で作り上げる。
 アパレルの服作りに欠かす事のできない、創作デザインパターン・カッティング・ソーイングの一貫した理論・知識と技術を習得。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1~4	紳士服関連説明・ポケット作り(パッチ・フラップ)手縫い(まつり・絡げ・千鳥・星)		121~124 ラグランコート製図・工業パターン・仮縫い
5~8	上襟作り(テーラー・ステン)		125~128 モーニングコート製図・工業パターン・仮縫い
9~12	ベスト製図・工業パターン・仮縫い		129~132 上田コレクション作品製図・工業パターン
13~16	プレタ展作品製図工業パターン		133~136 上田コレクション作品裁断・仮縫い・補正
17~20	プレタ展作品作り・裁断・仮縫い・補正		137~140 上田コレクション作品作り
21~24	プレタ展作品作り		141~144 上田コレクション作品作り
25~28	プレタ展作品作り		145~148 上田コレクション作品作り
29~32	プレタ展作品作り		149~152 上田コレクション作品作り
33~36	プレタ展作品作り		153~156 上田コレクション作品作り
37~40	プレタ展作品作り		157~160 上田コレクション作品作り
41~44	プレタ展作品作り		161~164 上田コレクション作品作り
45~48	プレタ展作品作り		165~168 上田コレクション作品作り
49~52	プレタ展作品作り		169~172 上田コレクション作品作り
53~56	プレタ展作品・衣裳合わせ・搬入準備		173~176 上田コレクション作品作り
57~60	プレタ展作品仕上り		177~180 上田コレクション作品作り
61~64	ジャケット製図・工業パターン・裁断		181~184 上田コレクション作品作り
65~68	テーラードジャケット作り(格子素材)		185~188 上田コレクション作品作り
69~72	テーラードジャケット作り(毛芯仕様)		189~192 上田コレクション作品作り
73~76	テーラードジャケット作り		193~196 上田コレクション作品作り
77~80	テーラードジャケット作り		197~200 上田コレクション作品作り
81~84	テーラードジャケット作り		201~204 上田コレクション作品作り・衣裳合わせ
85~88	テーラードジャケット作り		205~208 上田コレクション作品仕上り
89~92	テーラードジャケット作り		209~212 グレーディング(スラックス・ベスト)
93~96	テーラードジャケット作り		グレーディング(ジャケット・ブルゾン)
97~100	テーラードジャケット作り		213~216 グレーディング(ラグランコート)
101~104	テーラードジャケット仕上り		217~220 上田コレクション作品衣裳合わせ・搬入準備
105~108	ブルゾン製図工業パターン(革素材)		221~224 ピーコート製図・工業パターン・仮縫い
109~112	ブルゾン作り		225~228 ジャンプスーツ製図・工業パターン・仮縫い
113~116	ブルゾン作り		229~232 トレンチコート製図・工業パターン・仮縫い
117~120	ブルゾン作り(仕上り)		233~236 レディースジャケット製図・工業パターン・仮縫い
			237~240 ファンシーブルゾン製図・工業パターン・仮縫い

【成績評価方法】

課題作品(製図・工業パターン・仮縫い・実物作品)60%

理解力(期末テスト)30%

授業への取り組み態度 10%

【教科書・参考書】山路俊美著『図解紳士服製図・型紙の作り方』服飾手帖社発行

山路俊美著『図解紳士服(縫製)ジャケット・スラックス・ベスト・ブルゾンの作り方』等の資料

山路俊美著『図解紳士服ミシン仮縫い(接着)ジャケット・スラックス・ベスト・ブルゾン・シャツ・ラグランの作り方』資料

【教材・教具】

製図道具一式

縫製道具一式

科目名	メンズ商品企画Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	メンズファッションデザインコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 35% 実習 65%
時間数	60	作成者	野田 光晴

【科目の到達目標】

クリエイションと企画力を伸ばし自己表現を学ぶ

【科目の概要】

就職活動を目的とするポートフォリオ制作とアパレルブランドの理解を深める

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	アパレル業界概要と就職指導		16 OEM企画①
2	ポートフォリオ制作Ⅰ		リサーチ
3	ポートフォリオ制作Ⅰ-①		17 OEM企画②
	自己作品の見せ方		依頼からのデザイン
4	ポートフォリオ制作Ⅰ-②		18 OEM企画③
	ページ構成と組み立て		MAP制作-1
5	ポートフォリオ制作Ⅰ-③		19 OEM企画④
	ページ構成と組み立て		MAP制作-2
6	ポートフォリオ制作Ⅰ-④		20 OEM企画⑤
	修正と追加		プレゼンテーション
7	ポートフォリオ制作Ⅰ-⑤		21 ブランド企画Ⅱ
	修正と追加		上田学園コレクションからの企画
8	ポートフォリオ制作Ⅰ-⑥		22 ブランド企画Ⅱ
	完成		ターゲットからのイメージ
9	ブランド企画Ⅰ-①		23 ブランド企画Ⅱ
	ブランドサインとは		ファミリーデザイン出し①
10	ブランド企画Ⅰ-②		24 ブランド企画Ⅱ
	コンセプトとテーマ		ファミリーデザイン出し②
11	ブランド企画Ⅰ-③		25 ブランド企画Ⅱ
	ターゲットからのイメージ		修正と追加
12	ブランド企画Ⅰ-④		26 ブランド企画Ⅱ
	デザイン出し1		プレゼンテーション
13	ブランド企画Ⅰ-⑤		27 ミニルックブック制作①
	デザイン出し2		イメージとラフ
14	ブランド企画Ⅰ-⑥		28 ミニルックブック制作②
	修正と追加		撮影と編集
15	ブランド企画Ⅰ-⑦		29 ミニルックブック制作③
	プレゼンテーション		ページ構成
			30 ミニルックブック制作④
			完成

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

プリントを配布

【教材・教具】

パソコン・筆記用具

科目名	ファッションドローイングⅢ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	メンズファッションデザインコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 30% 実習 70%
時間数	60	作成者	田中英子

【科目の到達目標】

1年間終了時に、アパレルやコスチューム業界への就職対応のドローイング表現ができる。

【科目の概要】

アパレルやコスチューム業界で絶対必要なデザイン画を描く授業です。授業内容は、教科書や配布するプリントを使用し、そして黒板を使って重要ポイントを説明します。その後、各学生がデザイン画表現を行います。制作するデザイン画は、鉛筆描きや画材を使用しての着色など様々な表現を学びます。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	ヌード、顔、ヘア、手足の復習		16 全国ファッション画コンクール
2	アナライズ		17 ファッションクロッキー
3	就職対策(画材表現)		18 早描き
4	就職対策(ポージング)		19 アイテム画表現
5	就職対策(着装とハンイラ)		20 アイテム画表現
6	プレタ展の作品表現		21 アクセサリー表現
7	プレタ展の作品表現		22 アクセサリー表現
8	就職対策(パターンからデザイン)		23 アクセサリー表現
9	1920年から1990年代のイラストを学ぶ		24 トータルコーディネート表現
10	1920年から1990年代のイラストを学ぶ		25 加工指図書用のデザイン画表現
11	1920年から1990年代のイラストを学ぶ		26 加工指図書用のデザイン画表現
12	1920年から1990年代のイラストを学ぶ		27 創作ドローイングⅠ
13	デザイン画選手権の作品製作 1(ラフ)		28 創作ドローイングⅠ
14	デザイン画選手権の作品製作 2(下絵)		29 創作ドローイングⅡ
15	デザイン画選手権の作品製作 3(着色)		30 創作ドローイングⅡ

【成績評価方法】

課題作品の評価 60%、期末試験 30%、授業態度 10%

【教科書・参考書】

立嶋滋樹著『Creation Drawing』服飾手帖社2009年、高村是州著『ファッションデザインテクニック』グラフィック社2005年
NANCY RIEGELMAN著『COLORS FOR MODERN FASHION』NINE HEADS MEDIA

【教材・教具】

ケント紙、ドローイングペン、着色画材など

科目名	メンズデザイン論Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	メンズファッションデザインコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義35% 実習 65%
時間数	60	作成者	野田光晴

【科目の到達目標】

メンズファッションデザインのトレンド、業態を知りメンズファッションのクリエイションを高め
企業デザインとの違いを理解修得する

【科目の概要】

デザインを考える上でリサーチ力を身に着けクリエイションをコントロールで多種多様のスタイルに対応できる
様に企業デザインとコンテストデザインを通して学ぶ

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	メンズファッション 近代メンズファッション		16 トレンドデザインⅡ-① 2025SSトレンド①
2	コンテストデザインⅠ-① ナゴヤファッションコンテスト2024		17 トレンドデザインⅡ-② 2025SSトレンド②
3	コンテストデザインⅠ-② ナゴヤファッションコンテスト2024		18 トレンドデザインⅡ-③ 2025SSトレンド②
4	コンテストデザインⅠ-③ ナゴヤファッションコンテスト2024		19 トレンドデザインⅢ-① 2025-26AWトレンド①
5	コンテストデザインⅠ-④ ナゴヤファッションコンテスト2024		20 トレンドデザインⅢ-② 2025-26AWトレンド②
6	トレンドデザインⅠ-① カラートレンドからのデザイン		21 トレンドデザインⅢ-③ 2025-26AWトレンド③
7	トレンドデザインⅠ-② トレンドサイズからのデザイン		22 ファッションヒストリーからのデザイン① 60年代ファッション
8	トレンドデザインⅠ-③ スタイリングからのデザイン		23 ファッションヒストリーからのデザイン② 70年代ファッション
9	トレンドデザインⅠ-④ SDGsからのデザイン		24 ファッションヒストリーからのデザイン③ 80年代ファッション
10	コンテストデザインⅡ-①		25 ファッションアイテム①
11	コンテストデザインⅡ-②		26 ファッションアイテム②
12	コンテストデザインⅡ-②		27 ファッションアイテム③
13	上田学園コレクションデザイン		28 メンズファッションMAP①
14	上田学園コレクションデザイン		29 メンズファッションMAP②
15	前期末試験		30 後期末試験

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

プリントを配布

【教材・教具】

パソコン・筆記用具

科目名	コンピュータ演習Ⅲ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	メンズファッションデザインコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	120	作成者	佐山孝典

【科目の到達目標】

ホームページの作り方を習得し、就職や、卒業後の活動の際に作成できる基礎力をつける。
イラストレーター・フォトショップの復習応用をしながら、名刺などのアイテムを作成する。

【科目の概要】

クオリティとスピードを要求されるエンターテイメントの世界において、スタートから具体的に出来上がりを伝える必要があると考える。基礎的な操作方法を固め、効率を考えた一連の知識や技術習得する。クライアントに自分の魅力が伝わり、作り手の思いや温度が伝わるポートフォリオやHPを作る。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1			31 エクセル基本操作
2	アパレル業界概要と就職指導		32
3	PC演習復習①		33 エクセル表計算①
4	PC演習復習②		34 原価計算
5			35 エクセル表計算②
6			36 原価計算応用
7			37
8	就活先に合わせたポートフォリオ制作	アパレ	38 PCでスタイル画①
9	ル企画		39
10			40
11			41
12			42 PCでスタイル画②
13			43
14			44
15			45
16			46
17	就活先に合わせたポートフォリオ制作		47 イラストレーション
18	個人作品		48
19			49
20			50
21			51
22			52 ファッションマガジン
23			53
24	OEM企画		54
25			55
26	OEM企画		56 プロモーション
27	プレゼンテーション		57
28	復習とまとめ		58
29			59
30	前期末テスト		60 前期末テスト

【成績評価方法】

課題作品の評価 60%、期末試験 30%、授業態度 10%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

パソコン

科目名	縫製工学	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	メンズファッションデザインコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 100 %
時間数	30	作成者	相馬成男
<p>【科目の到達目標】専門学校では注文服(オートクチュール)作りを主体に履修するが、社会へ出ると既製服(プレタポルテ)が主流であり、工業生産的のもの作りの道理、実務工程の知識を習得し、自分を取り巻く関係者と円滑に意思疎通が図れる技術者を目指す。</p>			
<p>【科目の概要】国内繊維産業は長年の厳しい国際競争の中で、①高機能・高性能繊維、②高品質・高感性の素材、③精緻な縫製技術の3点が強みとしてあげられているが、衣料品の輸出は先進国の中で極めて少ない。一方で持続可能な開発目標(SDGs)達成が掲げられており、これら現状認識をしながら、アパレル企業が行う技術的業務の基礎知識をテキスト、パワーポイント及び動画と適宜配布資料を用いて講義を進める。</p>			
【授業計画】		前期	
90分/コマ			
第1週	第1章 アパレル産業の歴史と変遷		
第2週	第11章 世界と日本の繊維生産 第2章 アパレル製品の商品企画		
第3週	第3章 アパレル製品の副資材 - 1		
第4週	第3章 アパレル製品の副資材 -2		
第5週	各論 第3章 スポーツウエア		
第6週	第4章 アパレル製品用材料の 試験と検査		
第7週	第5章 アパレル製品の縫製 と二次加工		
第8週	各論 第4章 下着(インナーウエア) 各論 第5章 靴下		
第9週	第6章 アパレル製品の検査 と品質管理		
第10週	第7章 アパレル製品の安全・安心		
第11週	各論 第1章 紳士服 -1		
第12週	第8章 アパレルの表示と関連法規		
第13週	第9章 アパレル製品の洗濯 とメンテナンス		
第14週	各論 第1章 紳士服 -2 各論 第2章 婦人服		
第15週	第10章 アパレル製品の品質管理 と消費者対応		
<p>【成績評価方法】 毎回講義後の課題(宿題)の評価:50%、期末試験:40%、授業態度:10%</p>			
<p>【教科書・参考書】 編集:一社団法人 日本繊維技術士センター、『業界マイスターに学ぶ「アパレルの基礎知識」』、 発行所:金壽堂出版有限会社、発行日:2020年7月3日</p>			
<p>【教材・教具】 筆記用具</p>			

科目名	西洋美術史	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	メンズファッションデザインコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 100 %
時間数	30	作成者	山本廣道

【科目の到達目標】

主として近世(ルネサンス)から現代美術に至る知識を獲得し、これまでの流れを踏まえ、その先端としての創作ができる人材を育成する。

【科目の概要】

初期ルネサンス美術から20世紀後半の西洋美術の歴史を通覧するとともに、各時代の代表的な画家や作品について解説する。また二回に一回(30分程度)4~5人である作品について考え結論を出すというグループワークを行う。

【授業計画】

90分/コマ

後期

- 1 初期ルネサンス美術1:マザッチョ、ピエロ・デラ・フランチェスカ、ボッティチェリなど
- 2 初期ルネサンス美術2:ルネサンス美術の特徴、遠近法(透視図法)とはなにか
- 3 盛期ルネサンス1:レオナルド・ダ・ヴィンチについて
- 4 盛期ルネサンス2:ミケランジェロ、ラファエロなど
- 5 マニエリスム美術:ティントレット、ブロンズイーノなど
- 6 バロック美術:ヴェルフリンによるバロック美術解釈、ルーベンス、ベラスケスなど
- 7 ロココ美術:ロココの特徴、ヴァトー、フラゴナールなど
- 8 19世紀の美術1:新古典主義、ロマン主義
- 9 19世紀の美術2:リアリズム、マネの作品、印象主義
- 10 19世紀の美術3:後期印象主義、世紀末美術
- 11 古代~中世の美術1
- 12 古代~中世の美術2
- 13 20世紀の美術1:キュビズム、ダダイズム、シュルレアリスムなど
- 14 20世紀の美術2:第二次世界大戦後の美術
- 15 全体のまとめ、テスト問題の傾向

【成績評価方法】

平常点(演習問題、グループワーク、授業態度など)50%、テスト(期末一回)50%で評価を行う

【教材・教具】

教科書:千足伸行監修 『新西洋美術史』(西村書店)

【教材・教具】